

News Release

2025年4月22日
一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）

重電機器受注生産品 2024年度 第IV四半期 および 2024年度 受注実績

JEMAでは、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2024年度 第IV四半期(1~3月)」および「2024年度」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2024年度 第IV四半期(1~3月)の概要

重電機器受注生産品の2024年度 第IV四半期(1~3月)の受注額は、6,600億円、前年同期比126.4%と2四半期連続のプラスとなった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

◆内需は5,054億円、同132.6%と2四半期連続のプラスとなった。

- 製造業は951億円、同122.6%と4四半期連続のプラスとなった。主要需要先の自動車はマイナスとなつたが、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械が同プラスとなった。

- 非製造業は3,323億円、同134.3%と4四半期ぶりのプラスとなった。主要需要先の電力業は4四半期ぶりのプラスとなった。

- 官公需は733億円、同138.7%と前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。

◆外需は1,545億円、同109.7%と3四半期連続のプラスとなった。

【製品別動向】

- 前年同期比プラスとなった機器は次の通りです。交流電動機は415億円、同128.4%と4四半期連続、電力変換装置は425億円、同132.1%と2四半期連続、変圧器は582億円、同103.4%と5四半期連続のプラスとなった。遮断器は329億円、同144.3%と6四半期ぶりのプラスとなった。制御装置は1,576億円、同118.3%と、前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。

- 前年同期比マイナスとなった機器は次の通りです。発電機は196億円、同81.1%と3四半期連続のマイナスとなった。配電装置は780億円、88.4%と14四半期ぶりのマイナスとなった。

2024年度の概要

重電機器受注生産品の2024年度の受注額は2兆1,692億円、前年度比107.8%と4年連続のプラスとなった。電力業が高水準であり、2011年以降で過去最高の受注額となった。

(※以下、前年度比は「同」と略記)

◆内需は1兆6,856億円、同108.7%と4年連続のプラスとなった。

- 製造業は4,082億円、同123.8%と前年度のマイナスから転じてプラスとなった。主要需要先の、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、自動車は同プラスとなった。

- 非製造業は1兆51億円、同103.7%と4年連続のプラスとなった。主要需要先のうち電力業は5年連続のプラスとなった。

- 官公需は2,578億円、同107.6%と前年度のマイナスから転じてプラスとなった。

◆外需は4,836億円、同104.9%と前年度のマイナスから転じてプラスとなった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象(重電機器受注生産品)

ユーナより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業および官公需等です。

・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

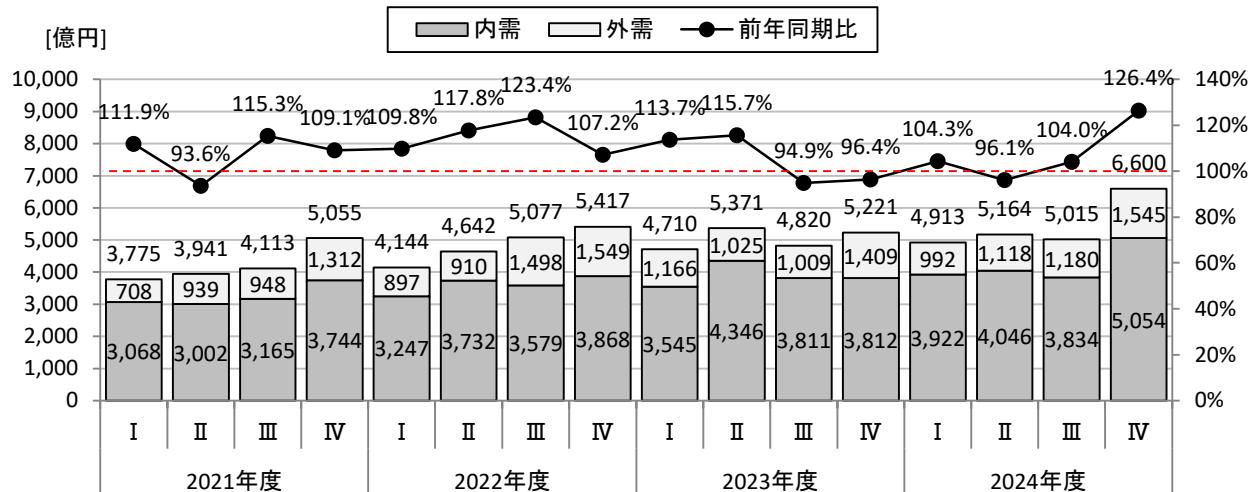
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■公表の種類

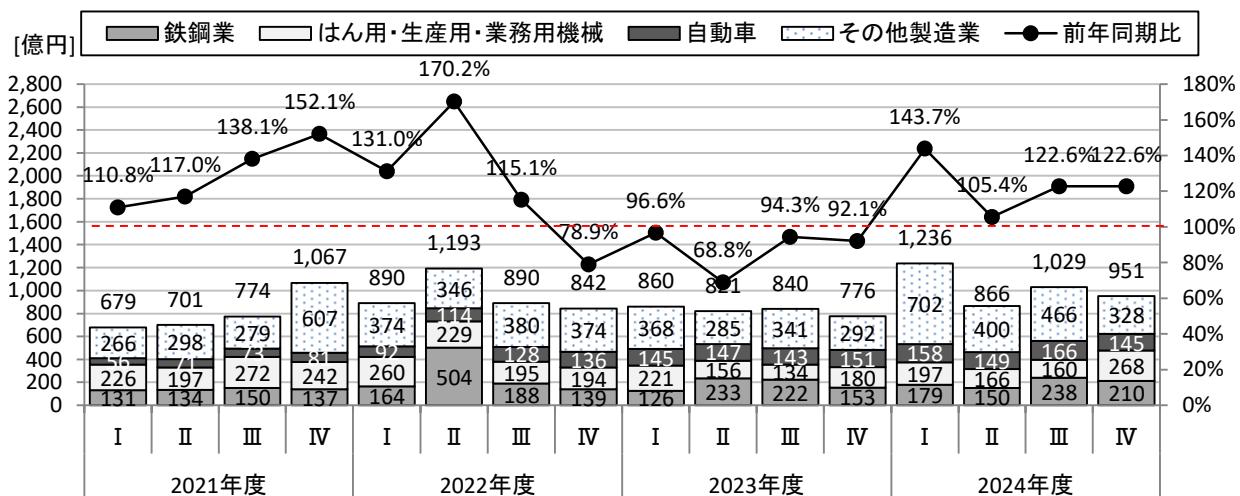
JEMA会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

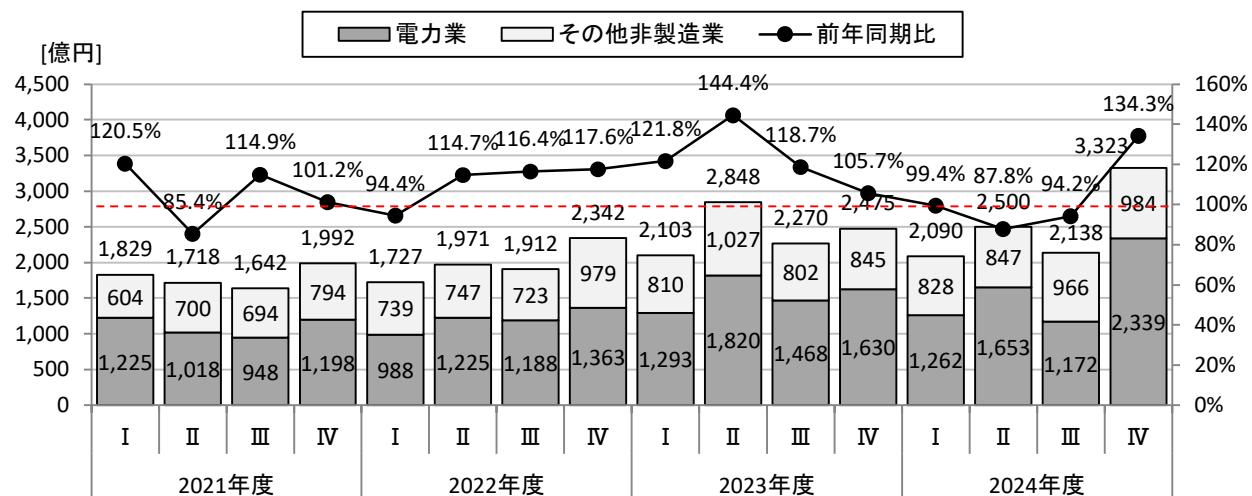
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)

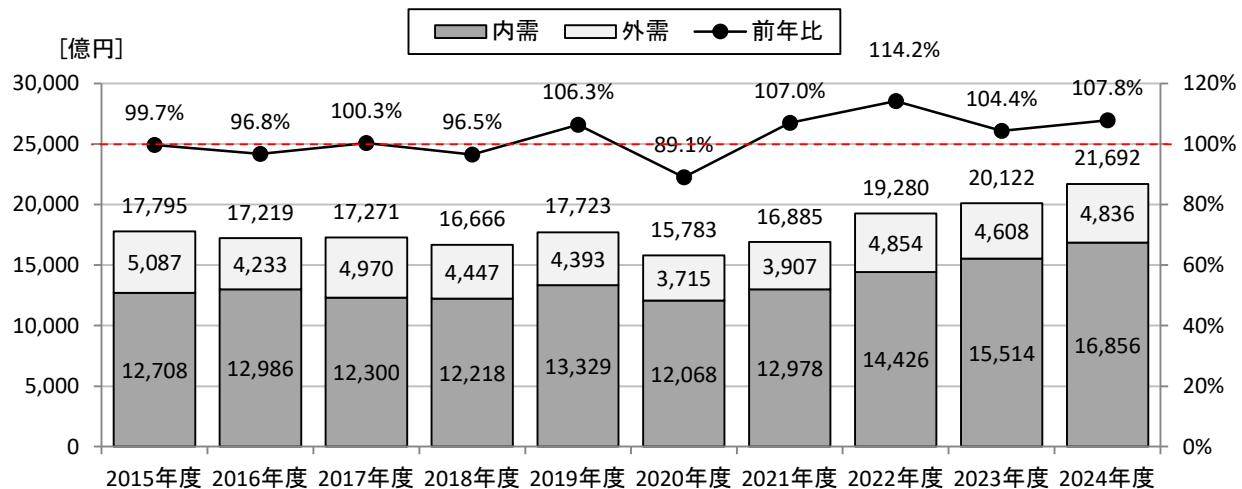


内需の内訳(非製造業)

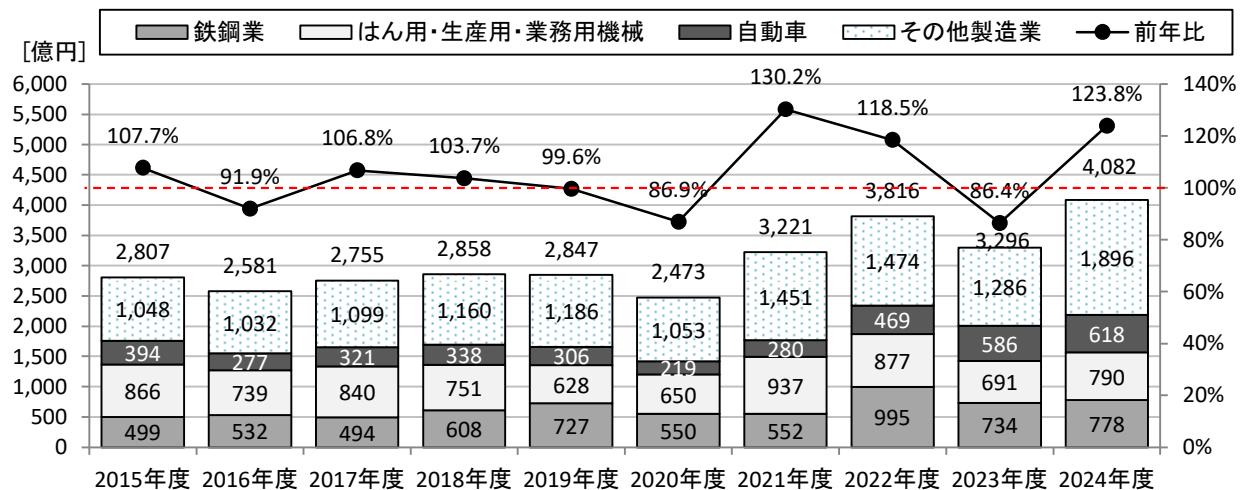


年度実績の推移

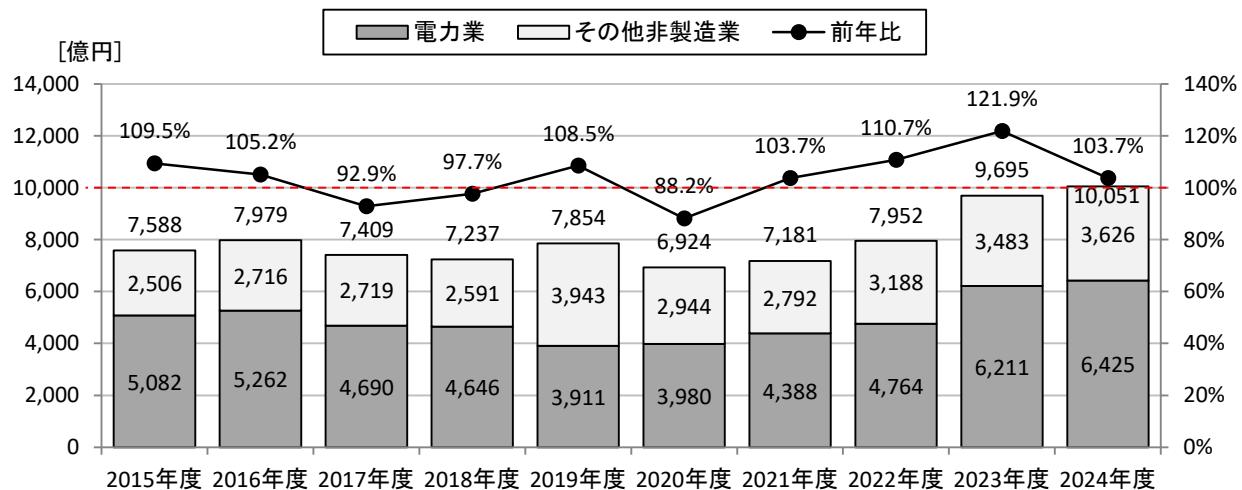
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊会問い合わせ先

TEL: 03-3556-5884

技術戦略推進部 重電・産業技術課